

# さとう 健司

県政報告  
Vol.18



平成29年2月県議会は、今年度当初予算案や「財政規律の堅持と透明性の確保に関する決議」などを可決して3月21日に閉会しました。  
未来を見据えて新しい滋賀の魅力をつくるために全力で取り組んでまいります。皆様のご指導、ご鞭撻賜りますようお願い申し上げます。

## ◆平成29年2月県議会 一般質問◆

### 瀬田川 の 環境保全と セタシジミ の 復活に向けて

**Q** 瀬田川で外来水生植物オオバナミズキンバイの繁茂が拡大している現状について？

**A** (知事) 瀬田川におけるオオバナミズキンバイ対策は管理者である国土交通省琵琶湖河川事務所が当たることになっているが、県でも瀬田川での分布や生育状況の現状把握に努めている。

**Q** 国がもっとしっかり対応するべきではないか？  
**A** (知事) オオバナミズキンバイ対策は初期の対応が重要だが、国は治水対策のみで環境の観点からの防除が充分でない現状にある。これまで以上に強く働きかけを行い、何らかの進展が見られるようにしたい。

**Q** 行政による駆除が後手に回る中で漁協や地域住民が水草の刈取りとともに駆除にあたっているが支援の考えは？

**A** (知事) 「瀬田川流域クリーン作戦」の皆様がオオバナミズキンバイの駆除に継続して取り組んでいただいていることに感謝申し上げます。今年度、水産多面的機能発揮対策事業において支援が拡充できるよう努めています。

**Q** 瀬田川流域クリーン作戦はセタシジミの復活を目的に活動しているが南湖のセタシジミについて認識は？

**A** (知事) 南湖は、かつてセタシジミの優良な漁場であったが、現在は大部分において生息が確認されていない状況だと伺っている。原因としては、水草の大量繁茂、湖底の泥化、低酸素化など湖底環境が悪化していることが考えられる。

### 解説

県は、琵琶湖のオオバナミズキンバイ対策に力を注ぐべく3億5400万円余りを今年度予算に計上しています。しかし、瀬田川については、管理者である国が行うべきとしてこれまで何の対応もせず、国は治水対策を優先して、オオバナミズキンバイの駆除を行ってきませんでした。

こうした状況の中で漁協や地域住民の取り組みには限界があり、瀬田川での繁茂面積は拡大しています。まさに行政の縦割りの弊害と言えますが今後、官民が連携して瀬田川の環境保全に取り組むことが求められます。

セタシジミ復活プロジェクトでは、環境省の琵琶湖保全再生等推進費を活用して、セタシジミ等の二枚貝を湖辺の環境修復の指標とするための研究や砂浜の環境修復手法の検証を国と協力して実施することになりました。



**Q** 南湖から瀬田川にかけての湖底環境の本格的な調査を実施し、状況の把握を行うべきでは？

**A** (知事) 平成28年度から水産試験場が南湖の湖底環境を調査し把握に努めている。今年度から瀬田川においてもセタシジミに適した湖底環境の解明につながるための調査を行う。

**Q** セタシジミ復活に向けた知事の決意を伺う。

**A** (知事) セタシジミは、本県独自の食文化を次世代に継承していくためにも欠かせない大切な固有種である。その復活が琵琶湖や瀬田川の再生におけるシンボルになりつとることを考えている。琵琶湖保全再生法の成立を機に改めて「セタシジミ復活プロジェクト」と名付けて取り組みを強化していきたい。

### 児童虐待防止対策が充実 一時保護所を増設

**Q** 児童虐待防止体制の強化について？

**A** (健康医療福祉部長) 平成31年度までに児童福祉司や児童心理司等の専門職の配置を計画的に進める。また、市町の要保護児童対策地域協議会との一層の連携強化を図り、県域全体の児童虐待に対する体制強化に努めていく。

**Q** 昨年6月県議会で早急な整備を求めた一時保護所について今年度予算に整備費用が計上されたが施設概要と整備のスケジュールは？

**A** (健康医療福祉部長) 社会福祉法人のぞみ会が所有する「のぞみ荘」の既存施設を生かしながら定員15名の居室の他、食堂や浴室、遊戯室や学習室を設ける。今年度に建築設計を行い、平成30年度に改修工事を実施、平成31年4月の開所を目標としている。

**Q** 一時保護所の新設にあたって課題は？

**A** (健康医療福祉部長) 子どもの安全が重要であるため外部からの無断侵入に備える体制や職員の計画的な確保、支援にあたる職員の資質の向上を図るための研修が必要となる。また、円滑に開所するため近隣住民の皆様へ一時保護所に対する理解を求めていくことも必要だと考えている。

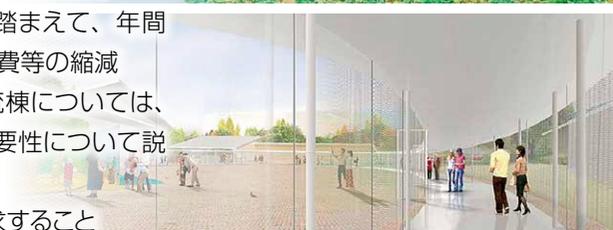
### 新生美術館の整備に関する決議を可決

現在の近代美術館の近・現代美術に加えて、神と仏の美とアール・ブリュットを新たな収集・展示の柱に整備される新生美術館については、設計の過程において新館の面積が基本計画で想定された面積から4割近く削減されるなど度重なる変更が行われました。

平成32年3月の開館に向けて今年度からいよいよ建築工事に着手される中で、これまで求めてきた館長の選任を含めた人員体制が示されないばかりか来館者目標30万人を達成する具体的な対策や運営方針が示されていないことから県議会で決議を提出し、可決されました。

決議では、100年後も県民の誇りとなる美術館を実現するべく6項目を求めています。

- 館長や経験を有する文化財担当の学芸員の増員等の人員体制や運営方針を早急に示すこと
- 公開承認施設として継続されるしっかりとした根拠を明らかにすること
- 美術館本体工事47億円をはじめ、これまで県議会に示した関連費用を含めた整備費用の総額約69億円の遵守
- 現在の近代美術館の約2倍となることを踏まえて、年間5億6千万円と見込まれている維持管理経費等の縮減
- 費用対効果の面から課題がある情報交流棟については、レストラン等の採算性や情報交流室の必要性について説明責任を果たすこと
- 来館者の利便性を高める方策をさらに追求すること



# 未来に向けた確実な一歩 平成29年度予算から皆さんのお声を形にした事例を紹介します。

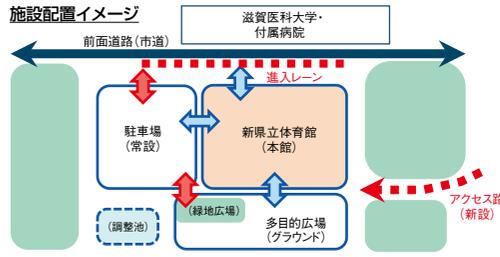
国体・全国障害者スポーツ大会をはじめとする全国規模のスポーツ大会、大規模イベントや各種興行の開催をフレキシブルに対応・実現できる施設規模とする。

項目	必要規模(程度)	項目	必要規模(程度)	
メインアリーナ	面積	2,760㎡ (69m×40m)	応接室(来賓室) 医務室 多目的室 キャスルーム	
	高さ	14m以上		
	観客席(最大)	5,000席程度 (固定席・可動席・仮設席計)		
サブアリーナ	面積	1,026㎡ (27m×38m)	事務室(施設管理室) 放送、音響、調光室 トレーニング室	
	高さ	12m以上		
	固定席	200席程度		
更衣室・器具庫・トイレ等	更衣室・シャワー室	1,700~1,900㎡程度	スポーツ・体力測定諸室 競技団体事務室 1階玄関ホール 観客入口休憩スペース	
	器具庫			
	トイレ、多目的トイレ			
会議室	大会議室	480~600㎡程度	合計	14,000㎡程度
	中会議室			
	小会議室			

※各室面積は現時点の目安であり今後の検討により変動

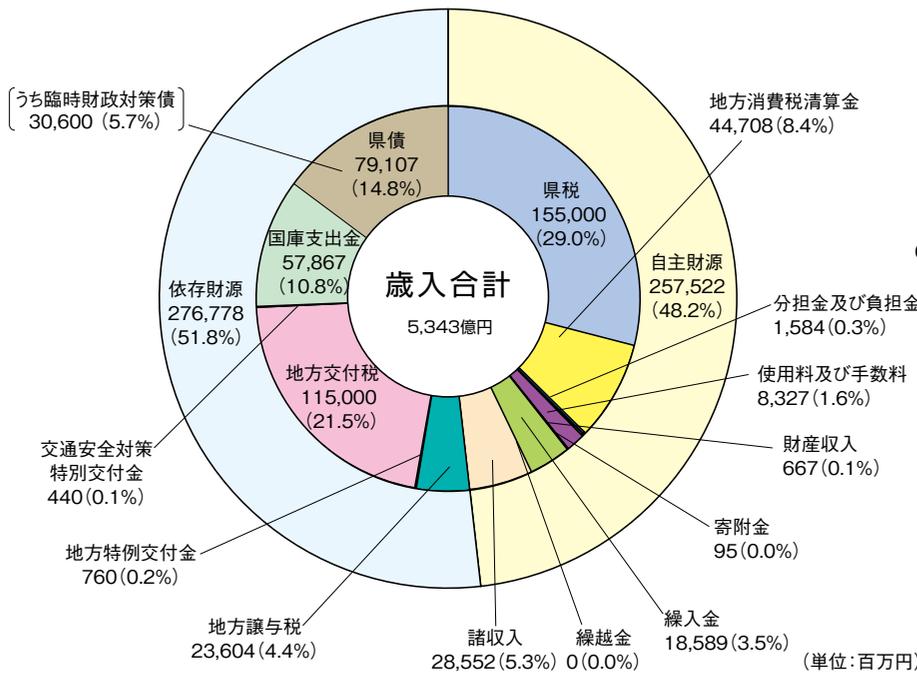
今年度予算には、建設予定地の造成基本設計、測量・地質調査やPFI事業のアドバイザー業務の委託など4900万円余りが計上され、平成34年度の完成を目指して整備が進められます。

新県立体育館施設整備基本計画がまとまり、県民サービス向上や財政支出の軽減等が図られるとしてPFI方式で事業を進める方針が示されました。スポーツ・健康づくりの拠点に留まらず、周辺の大学等との連携の拠点、ビジネス創出や観光など産業振興の拠点として周辺地域の活性化につなげることを提案してきましたが、基本計画にはコンベンションやスポーツ興行など大規模なイベントでの利用を想定した施設として整備し、誘致に取り組みことやグラウンドゴルフ等にも活用できる多目的広場の整備が盛り込まれました。

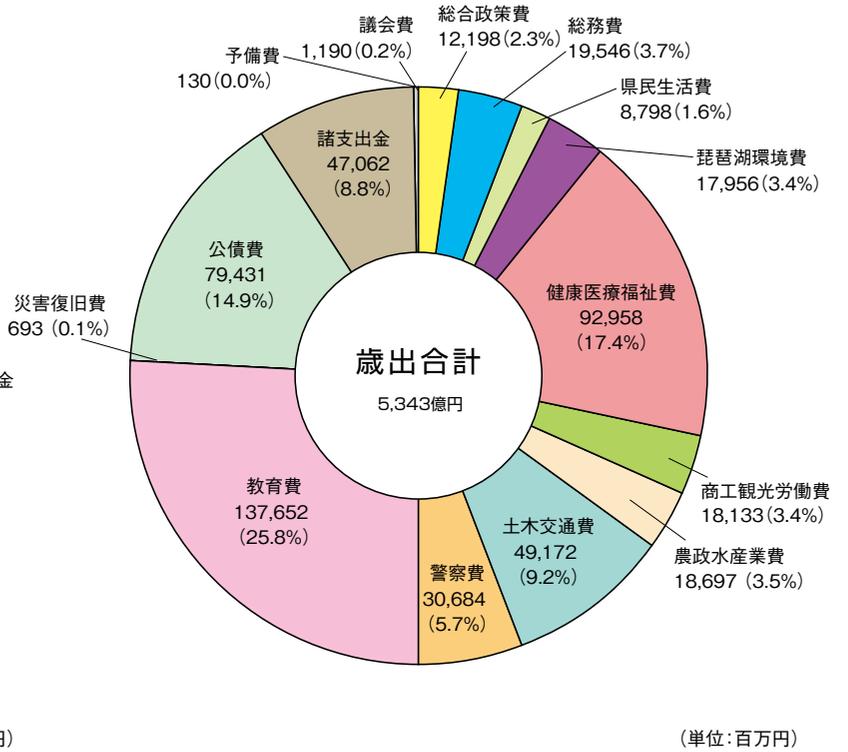


## びわこ文化公園都市で 新県立体育館整備が始動

### ●歳入予算の構成図



### ●歳出予算の構成図



## 活動ギャラリー



急傾斜地崩壊対策事業の現場視察



MOA美術館大津児童作品展表彰式



「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり実践県民会議



しまなみ海道サイクリングを視察

## 琵琶湖保全再生計画スタート

琵琶湖保全再生計画の計画期間が始まる今年度には、施策に関する事業費として総額で33億1800万円が計上されました。

琵琶湖を「守る」と「活かす」ことの好循環を推進するというものの計画の実効性を高めるために継続的な財源の確保が求められます。

水草刈取・除去事業	2億3240万円
琵琶湖の魚消費拡大PR事業	2140万円
琵琶湖活動推進事業	300万円
国立環境研究所移転関連事業	1億4130万円



## 地域公共交通の活性化

高齢化の進展とともに、地域における生活の足の確保が大きな課題となっていることから、公共交通条例を策定した奈良県等の調査を行ってきました。

大津湖南エリアでは、今年度、地域公共交通網形成計画が策定されるとともに、バス交通の再編に向けた社会実験が実施されます。

大津湖南エリア地域交通活性化促進事業	1880万円
みんなで考える公共交通事業	252万円
地域協働交通社会実験事業	100万円



滋賀県議会議員

さとう健司

〒520-2153 大津市一里山1丁目1-13-1305

- ◎県民生活・土木交通常任委員会 委員長
- ◎琵琶湖保全再生対策特別委員会

皆様のご意見を  
ぜひお聞かせください

sato@satoken.net